



どろのなか  
ゆめのそこ







巴  
マニ

……明日……  
ですよ

ほむらちゃんが  
言ってた……

すごい魔女が  
来るのって……

泥の胎 夢の底

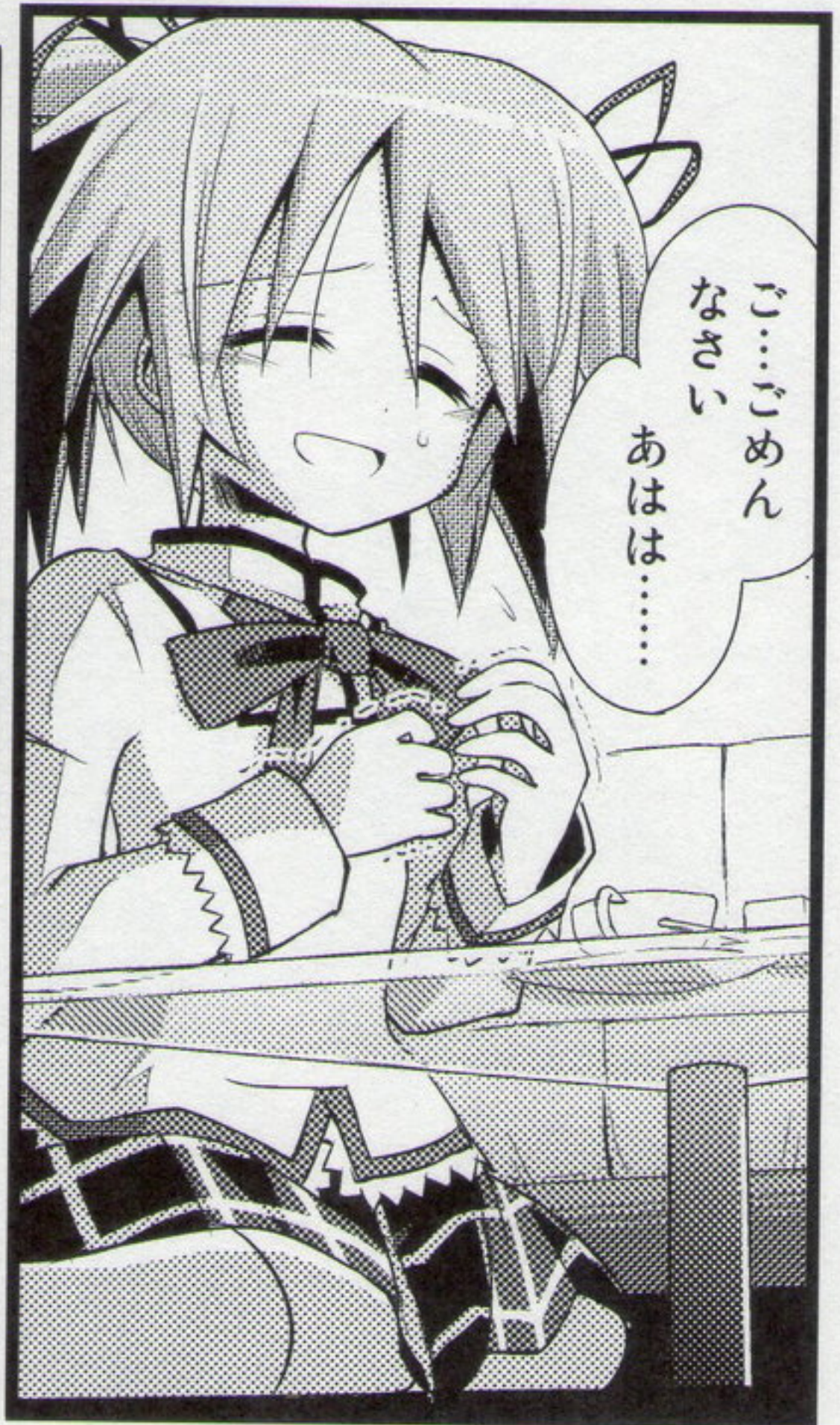
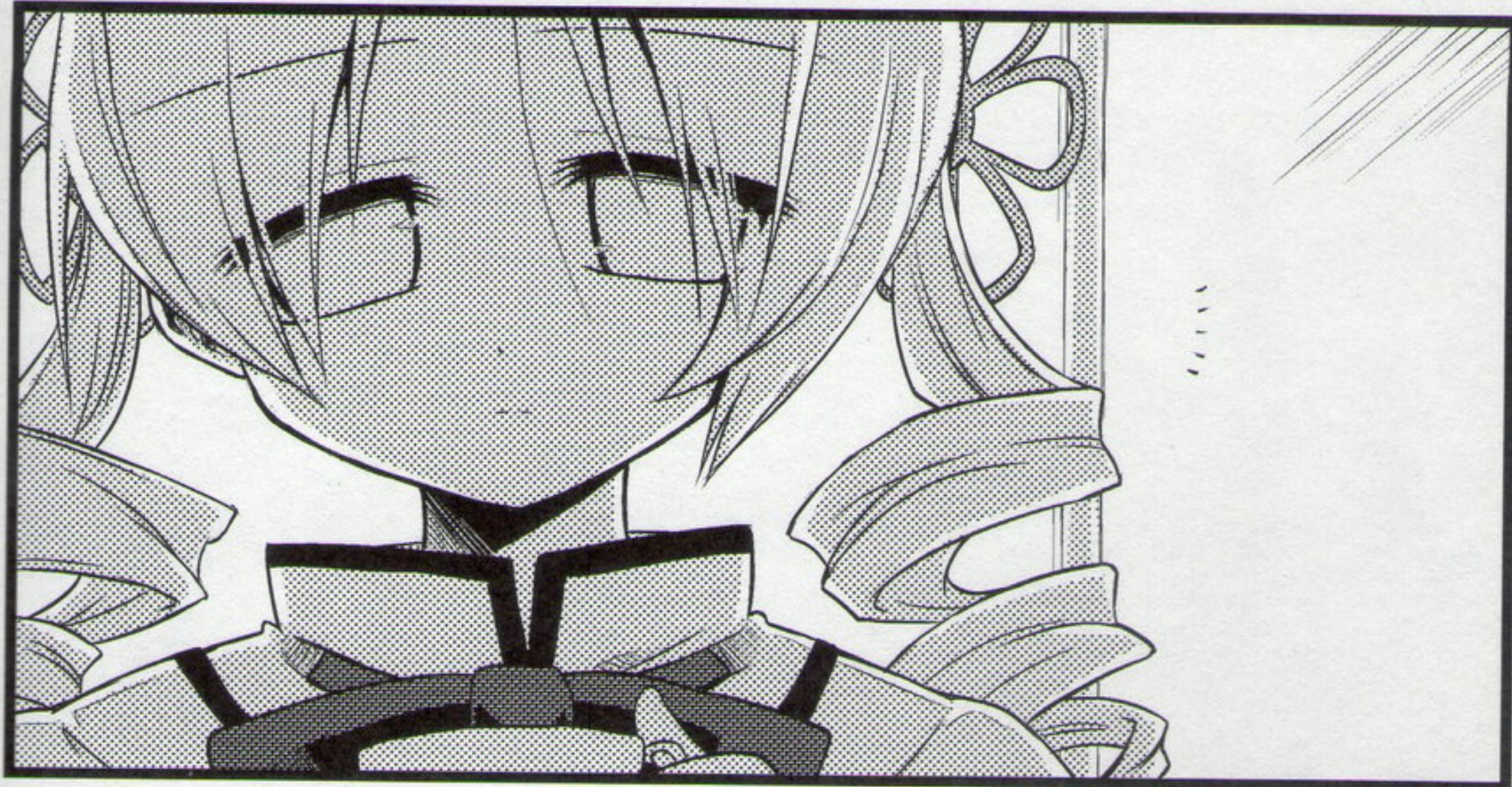


……あの  
ほむら……  
ちゃんは……？



——誘ったの  
だけれどね  
やらなければ  
ならないことが  
あるんですって





ご……ごめん  
なさい  
あはは……



……マミさん  
……は  
恐く……  
ないん……  
ですか……？



明日……  
死ぬかもしれない  
ってこと……も

この街が……  
世界がどうなるかが  
私たちの戦い次第って  
……そんなこと……





——前にも  
言ったけれど

鹿目さん

あなたが傍に  
いてくれる限り

私は  
何も恐くないわ

だからあなたも  
恐がらなくていい

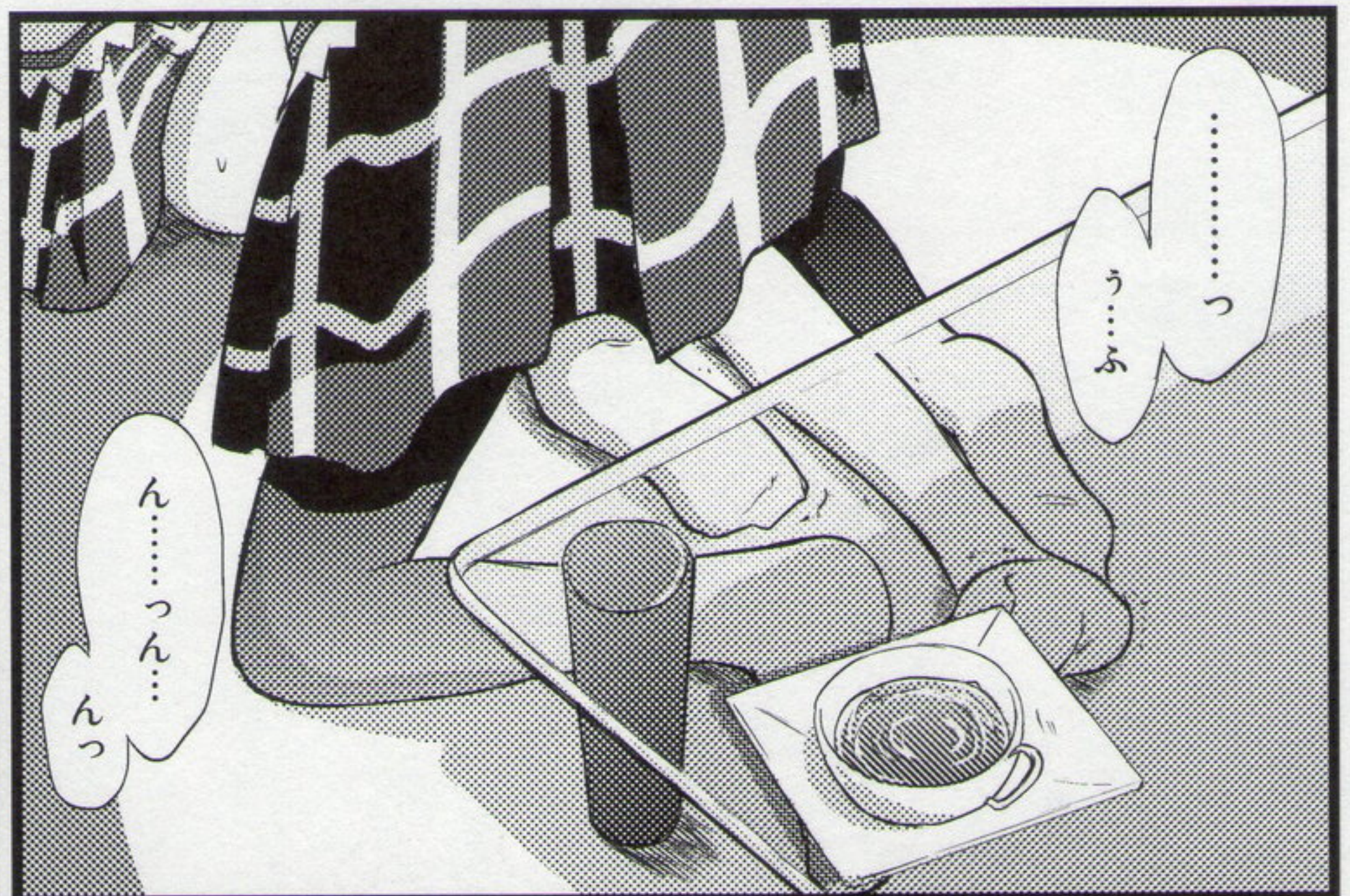
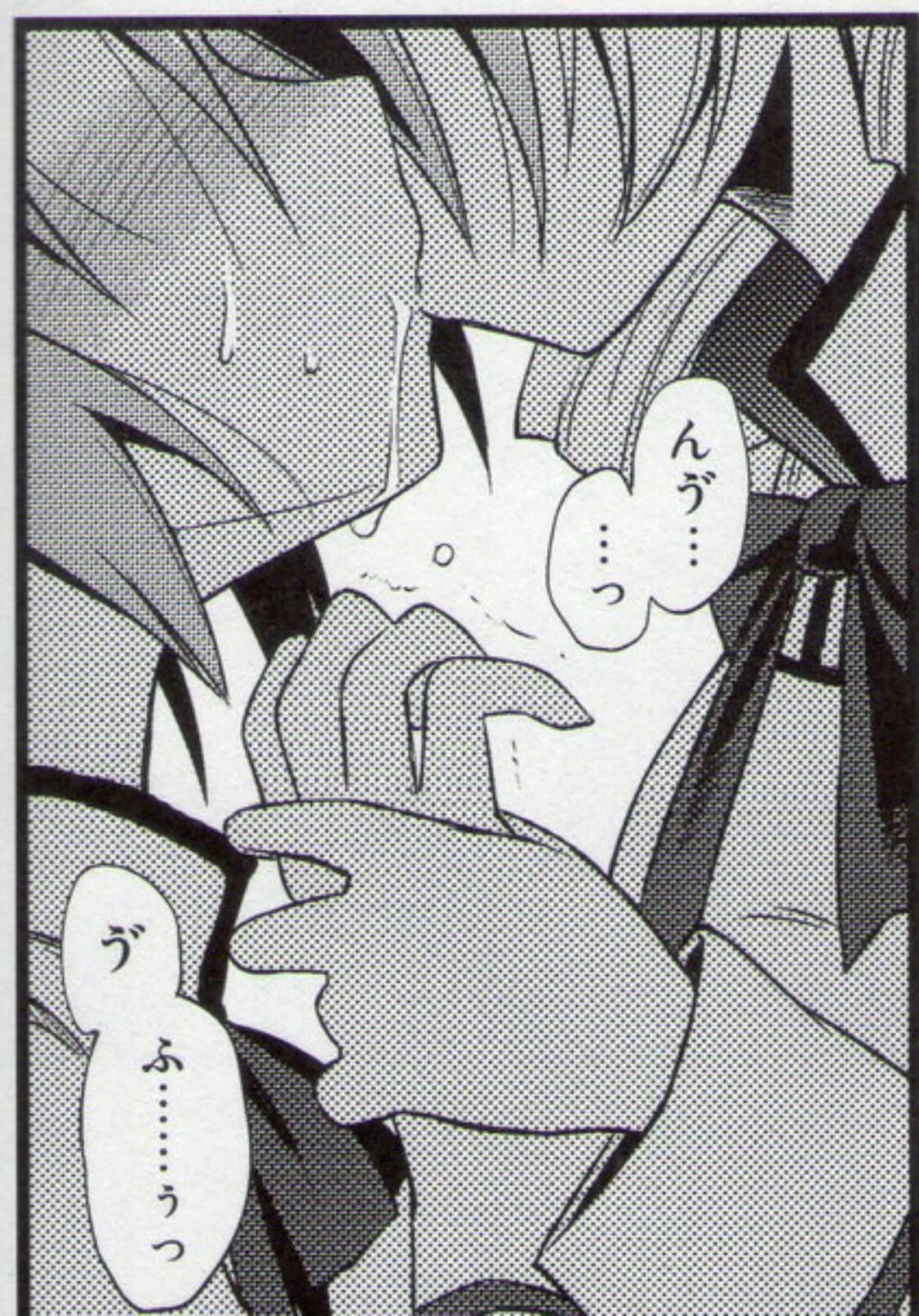
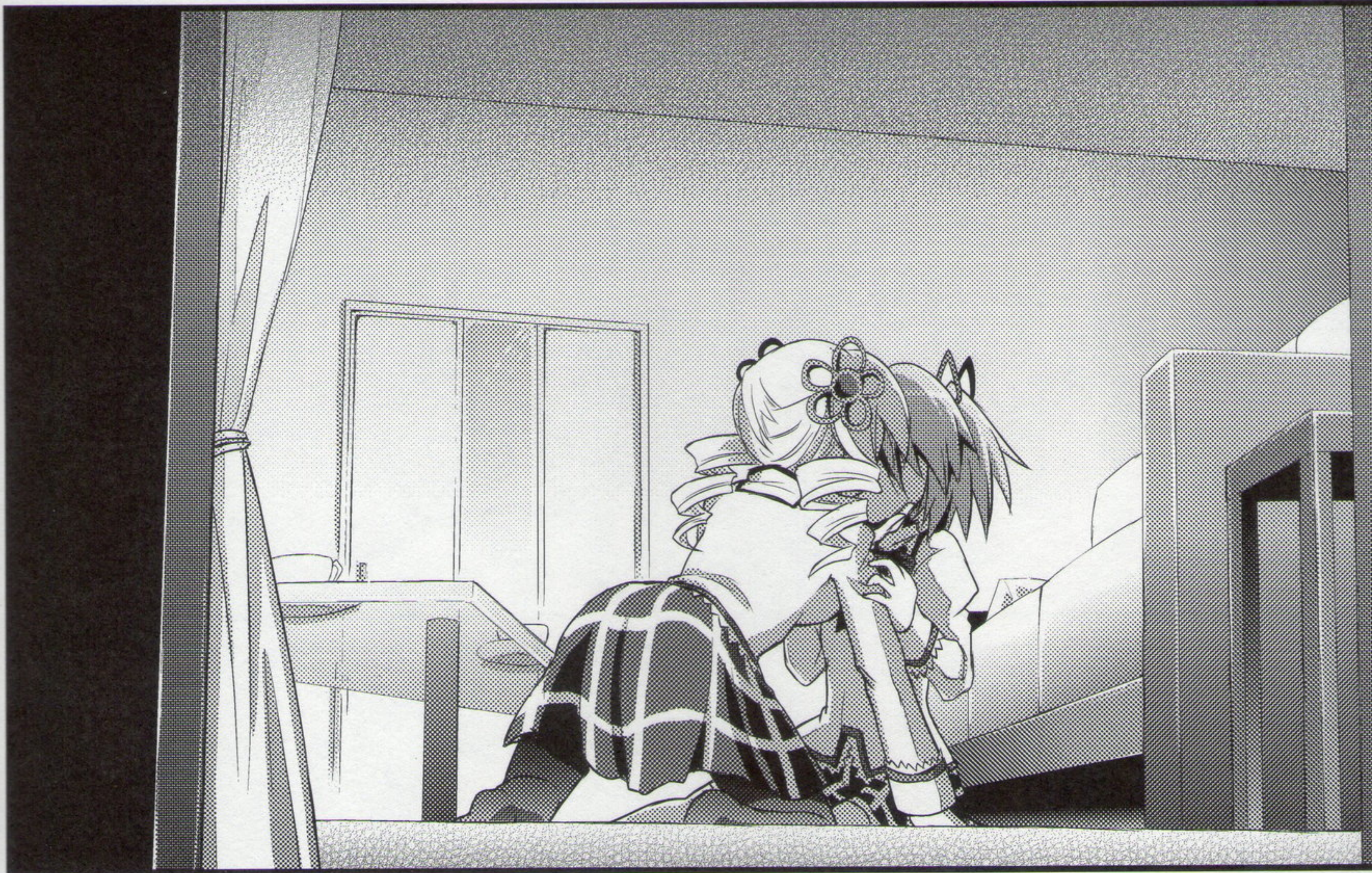
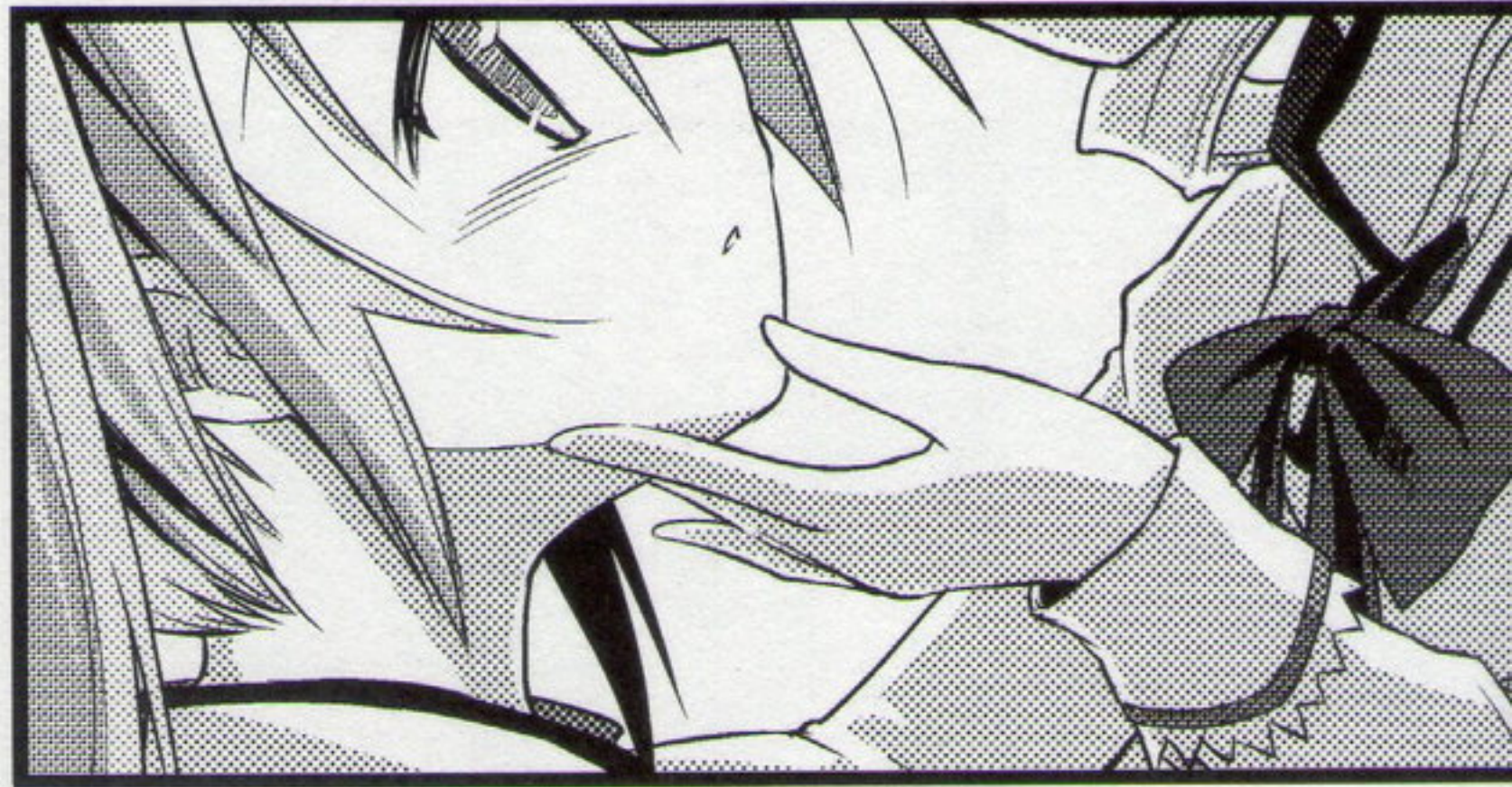
私がいいつも  
あなたの傍に  
いるから

マミさん……

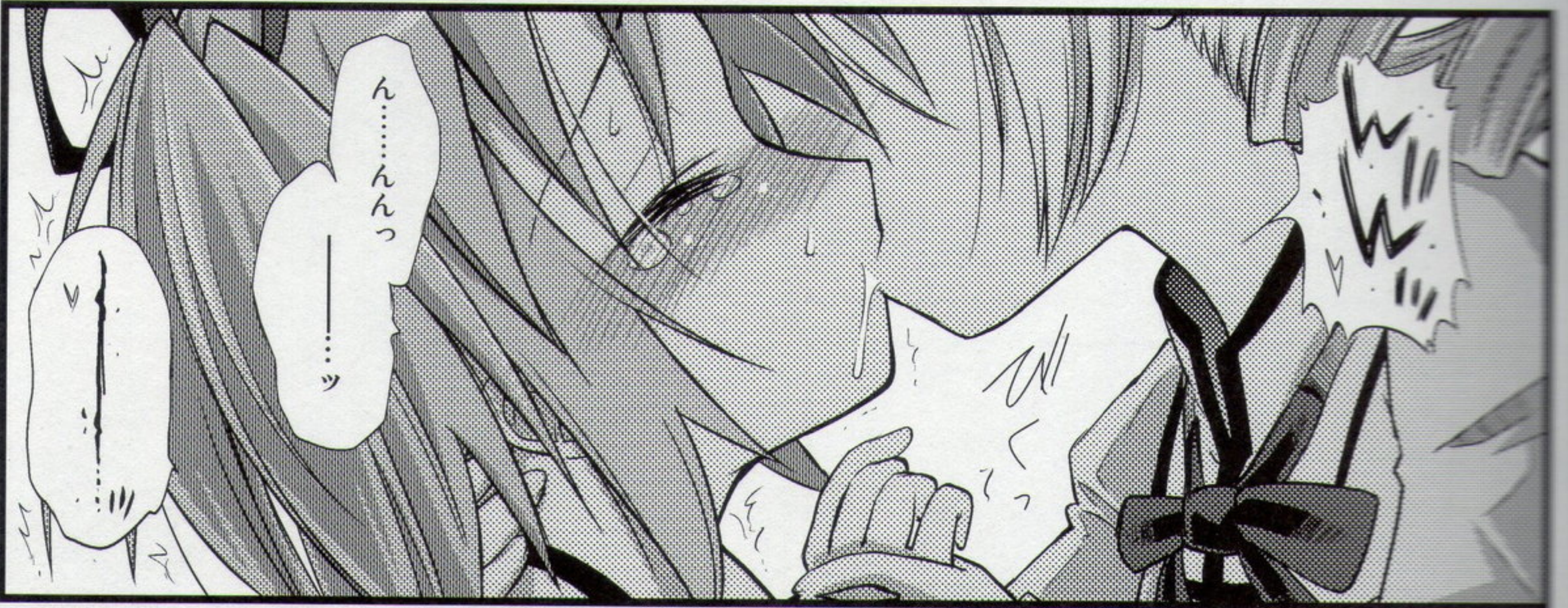
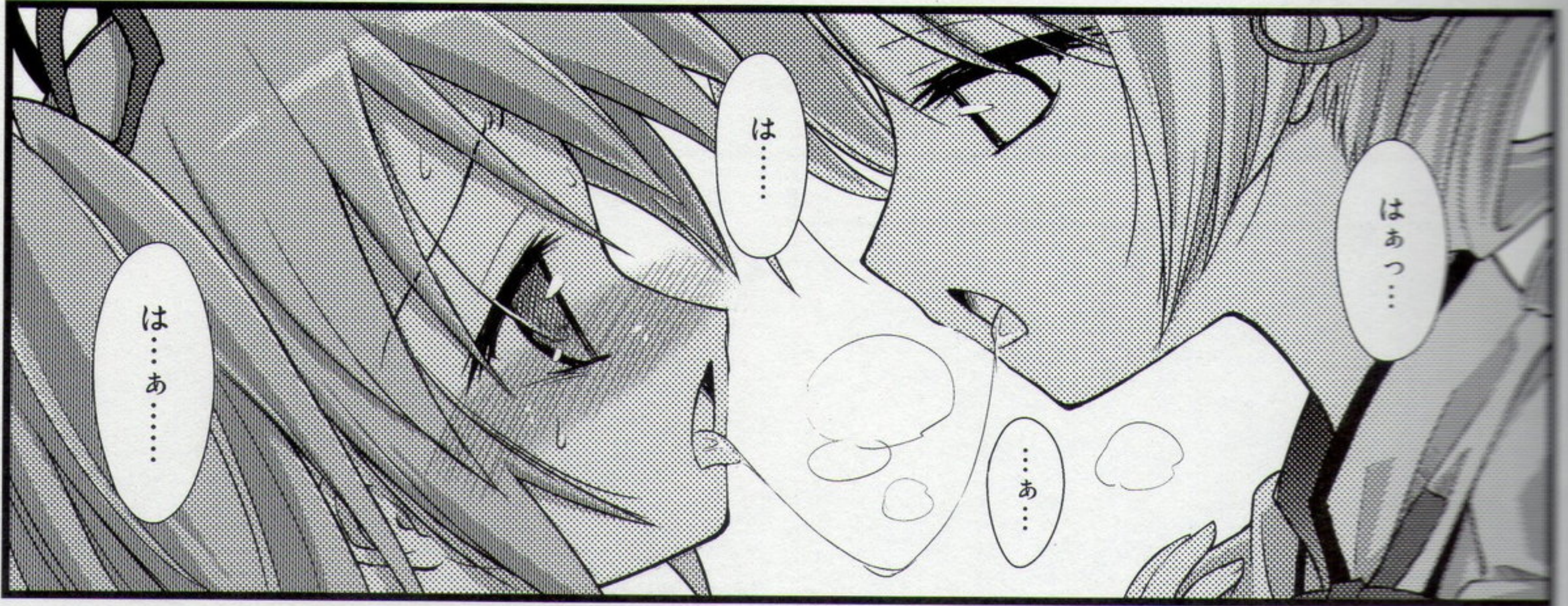
大丈夫

大丈夫よ

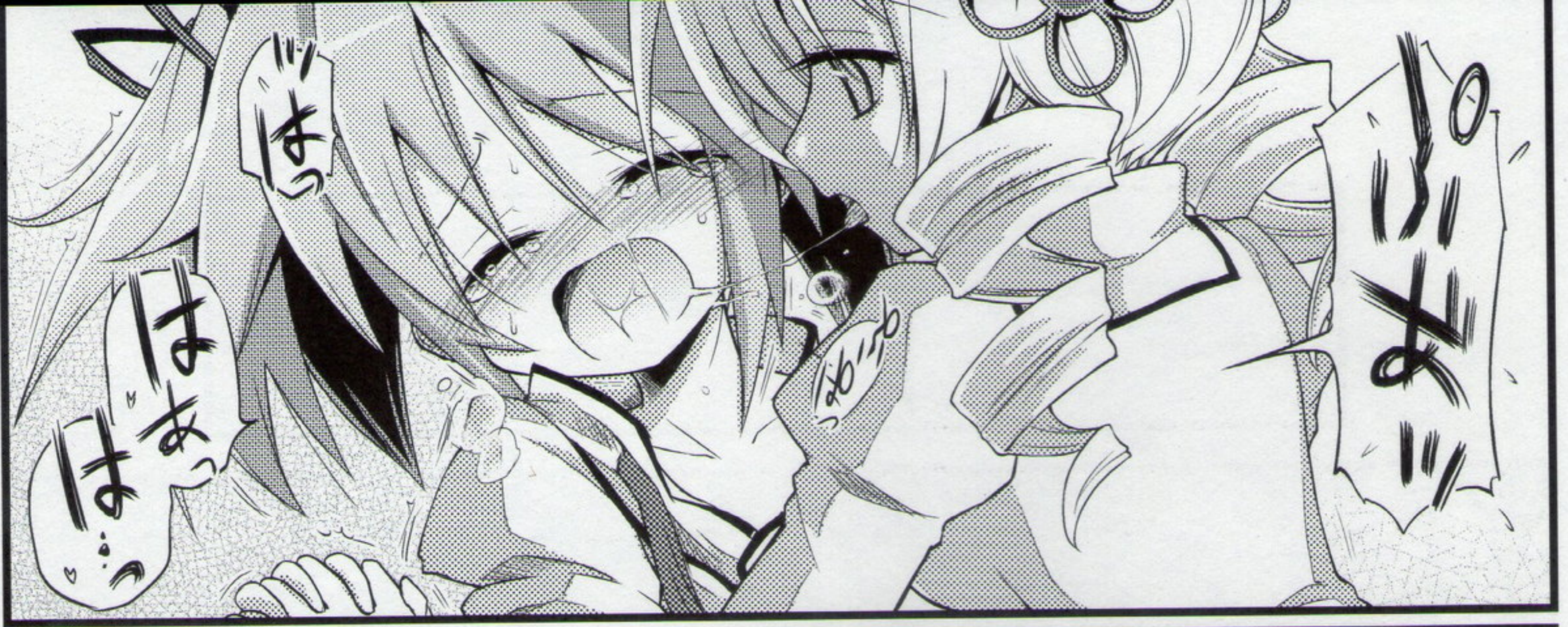














——鹿目さん

恐かったらね



逃げても  
いいのよ



え……



震えながら必死に  
戦って……それで  
その先にどんな  
救いがあるの？

戦って……  
勝ったとしても  
誰からも評価される  
ことはないし

その結果は誰にも  
識られることはない

ましてや次の『魔女』に  
勝てる見込みなんて  
誰も保証していない





ならば  
逃げることは  
決して卑怯なこと  
なんかじゃないわ

で……もっ  
うあ……っ……

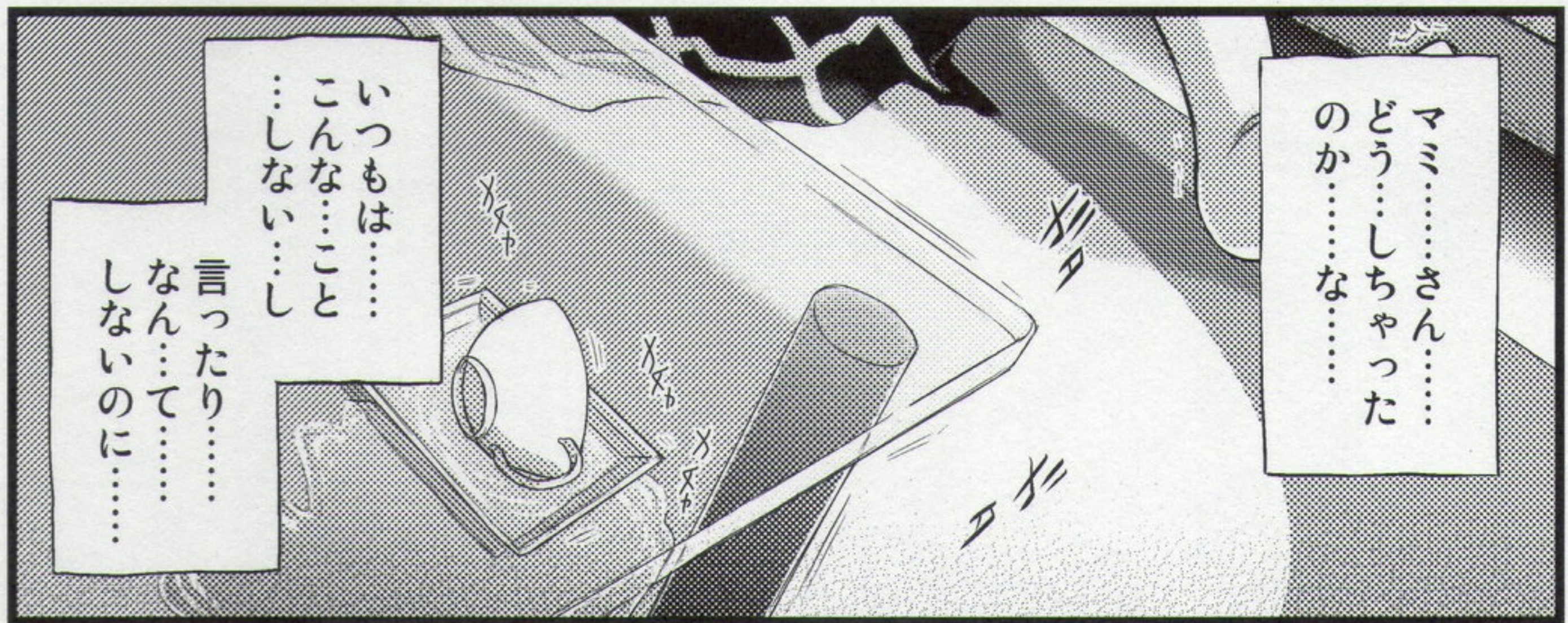
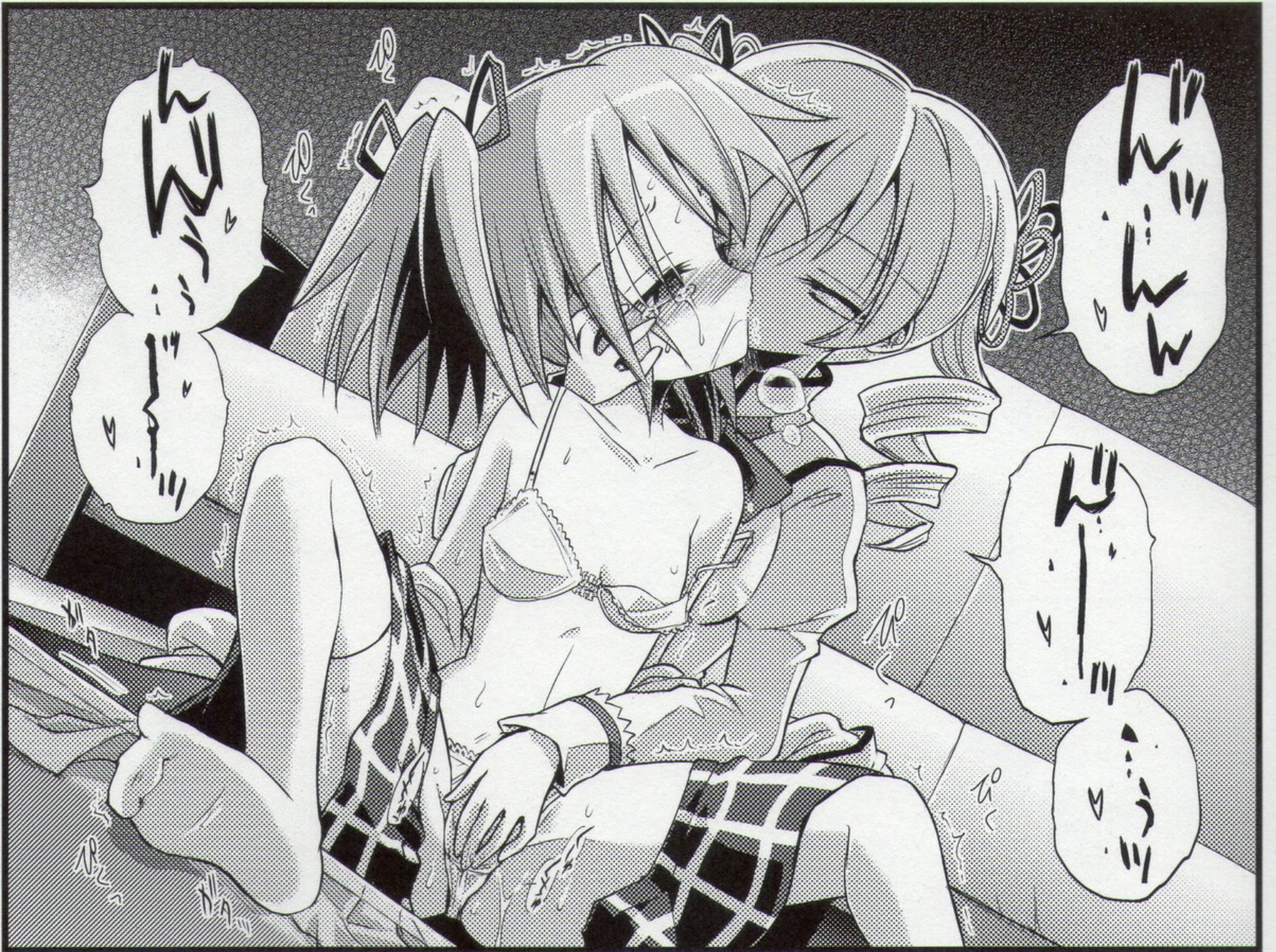


大丈夫よ  
私はあなたを  
責めたりはしない

これからもずっと  
あなたとは  
離れないから——









大丈夫よ……  
鹿目さん……

大丈夫……  
だいじょうぶ……

大丈夫

だいじょうぶ

だいじょうぶ

おかしくない  
……かな……

おかしいのは……  
……わたし……？

だいじょうぶ

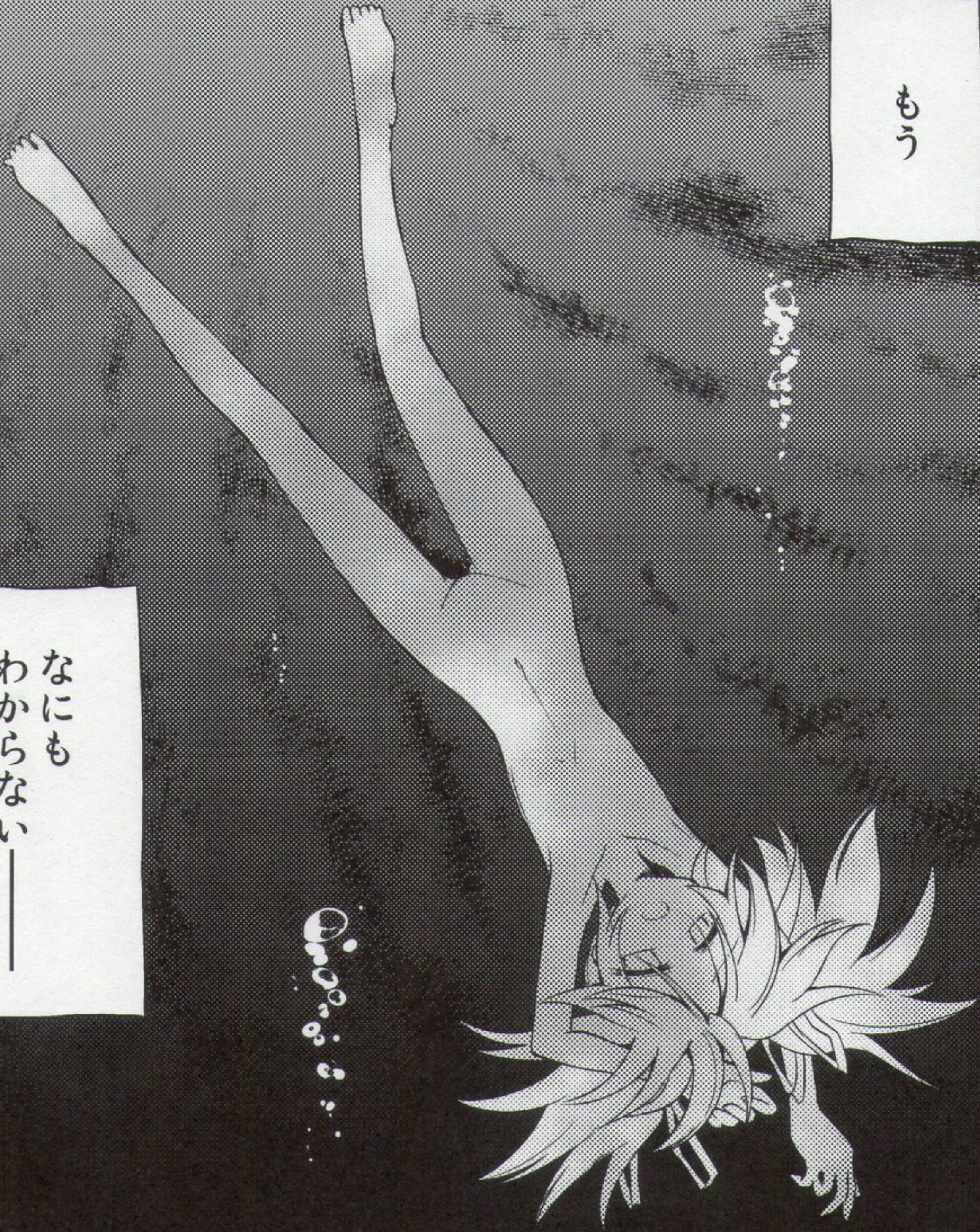
だいじょうぶ

あたまの中が  
とけたチーズ  
みたいになって

なにも  
かんがえられない



もう



なにも  
わからない——

EYE

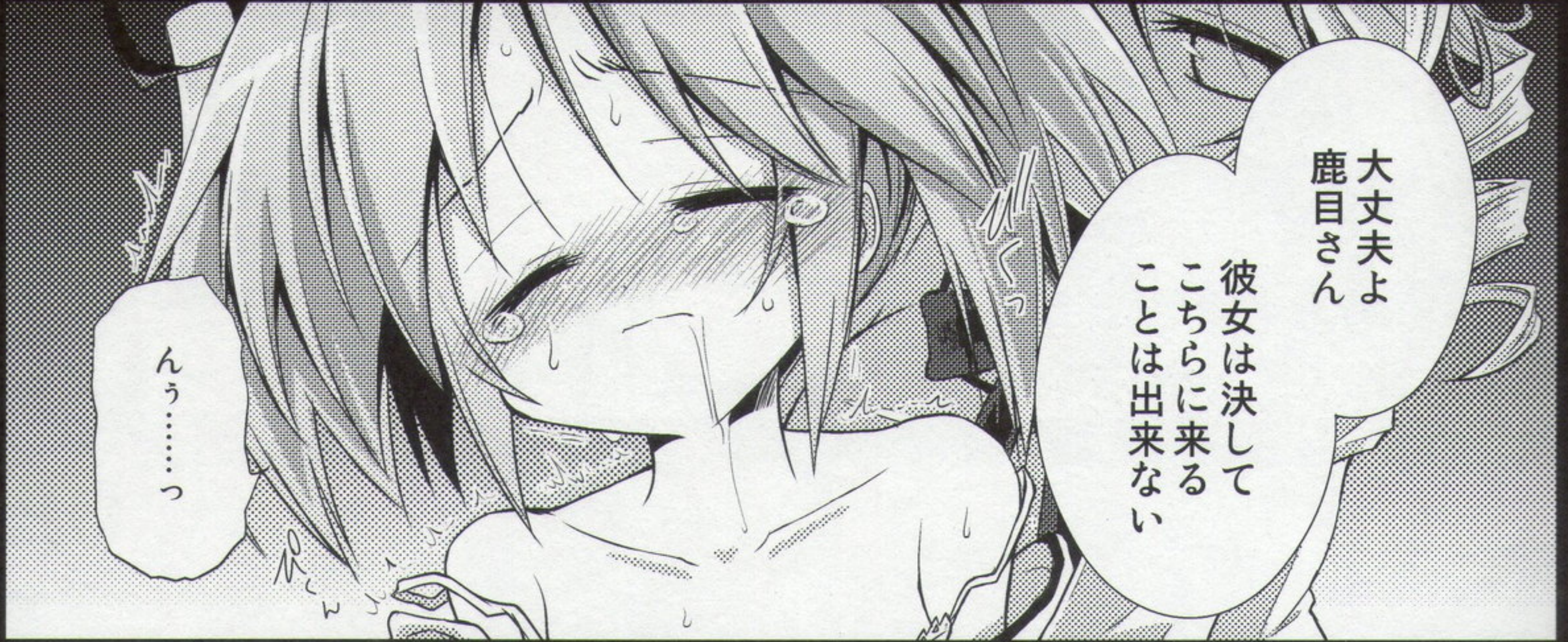
...











大丈夫よ  
鹿目さん

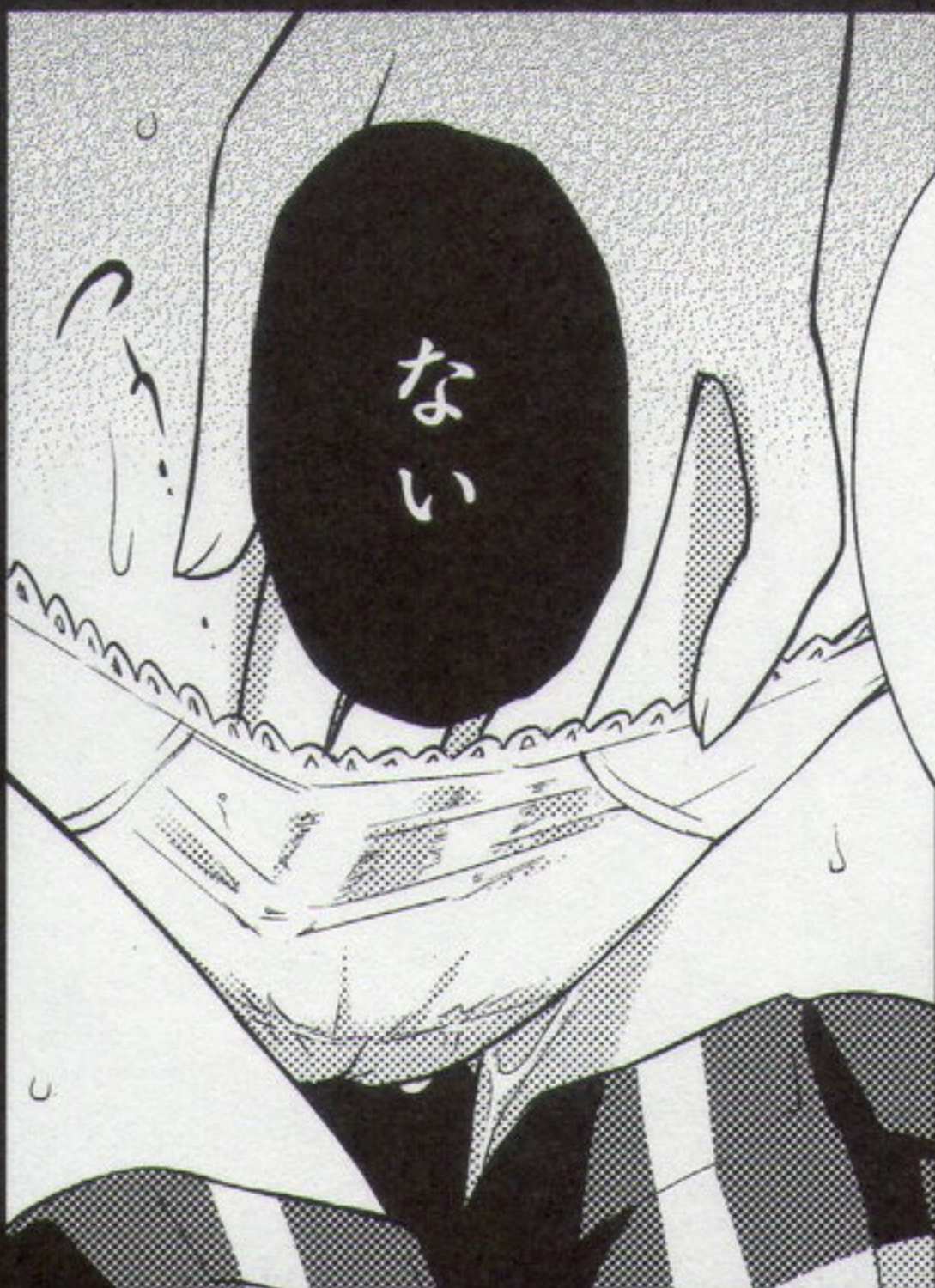
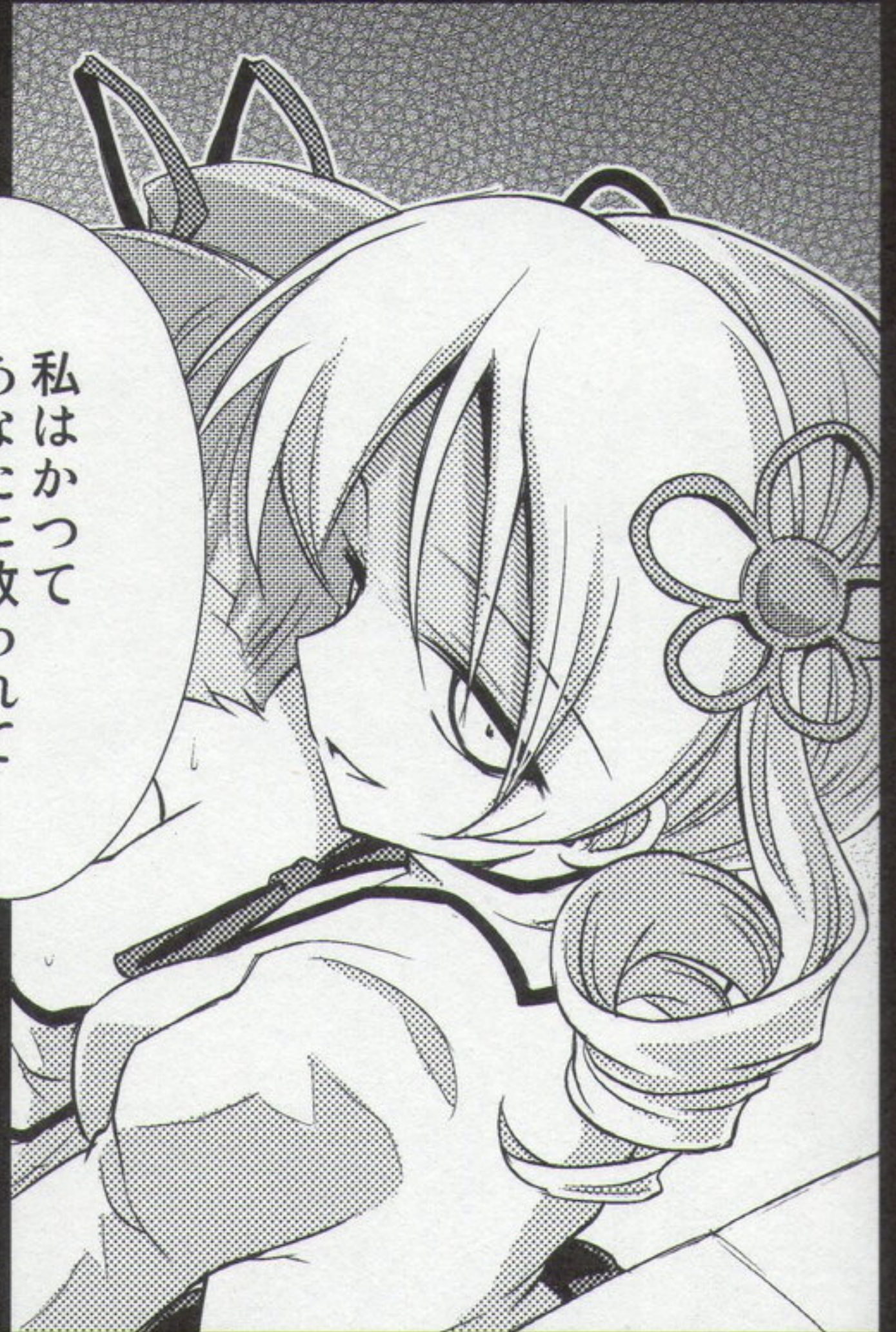
彼女は決して  
こちらに来る  
ことは出来ない

んう……っ



私はかつて  
あなたに救われて  
ここにいる

彼女はあなたの  
救いを拒否した



ない

だから彼女が  
この『結界』の胎なかに  
入り込むことは  
決して……

……ちや……

……ほ……  
む……ら……









もうこの世界を  
侵すものは  
何もない

そうでしょう？

かなめさん  
おひげのひげ？

おひげのひげ？



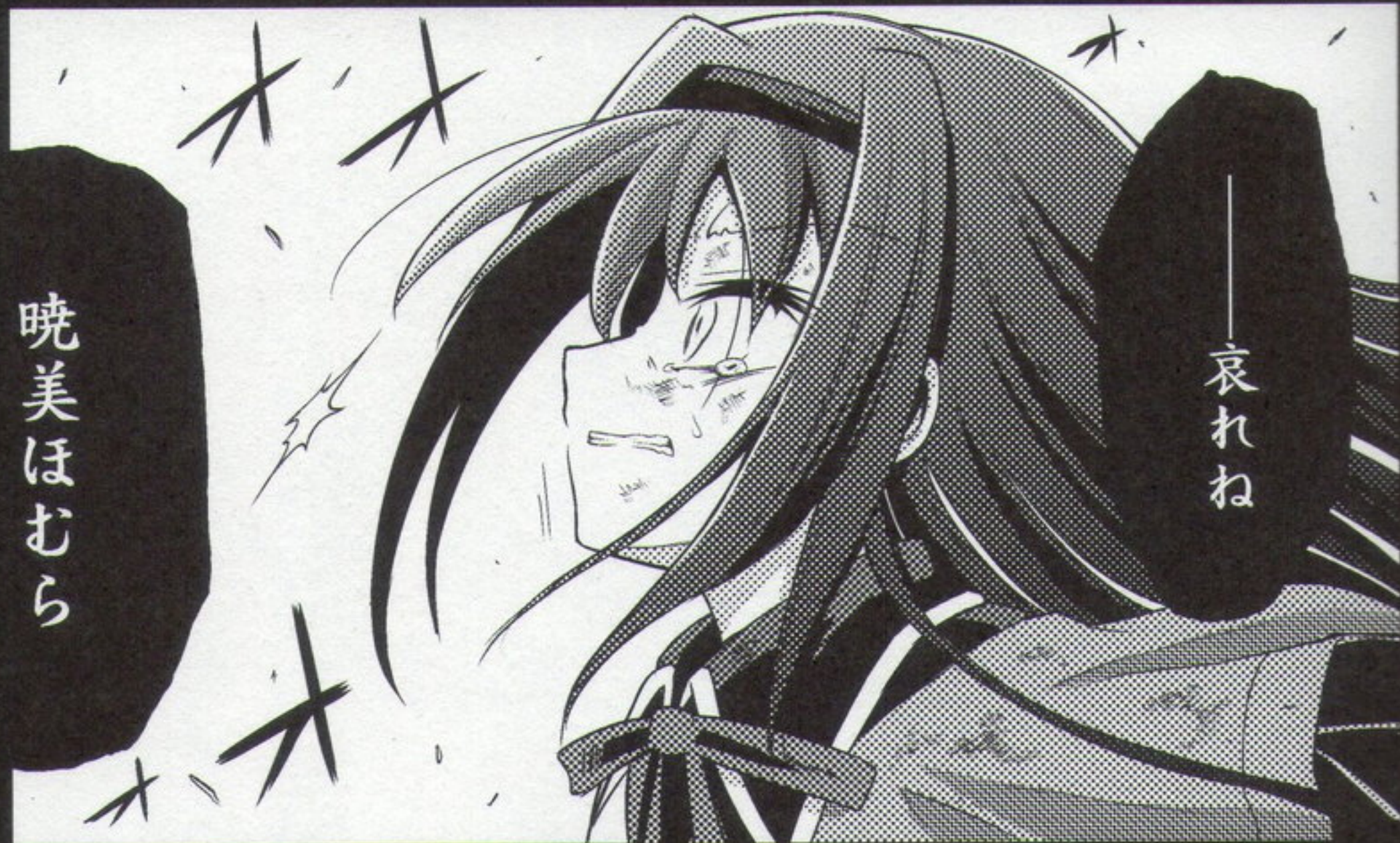
まどか  
かあ  
ああ  
ああ  
ああ  
ああ







暁美ほむら



哀れね



巴……ッ

……いいえ  
『巴マミ』の声と  
姿を借りただけの  
魔女の影——ッ!!



あなたも  
素直に鹿目さんの  
救いを受けるとを  
選んでいれば

こちらで  
私たちと楽しく  
出来たでしょうに



黙りなさい



私は必ず  
まどかを

助ける？

鹿目さんの  
願いはこの世の  
全ての不幸を  
無くすこと



不幸の塊<sup>かたまり</sup>みたいなの  
今のあなたがいる限り  
彼女は永遠に  
救われないわよ



……



もうあなたに出来る  
ことは 何もない

そうよね？  
鹿目さん







鹿目さんも  
こっちの方が  
いいって  
言ってるわよ

あまあ...

か...

は...

...

ふふふ.....



まどか...ああ.....

まどか.....



それとも  
この現実が

彼女の妄想よりも  
救われるものだと  
証明出来るかしら？



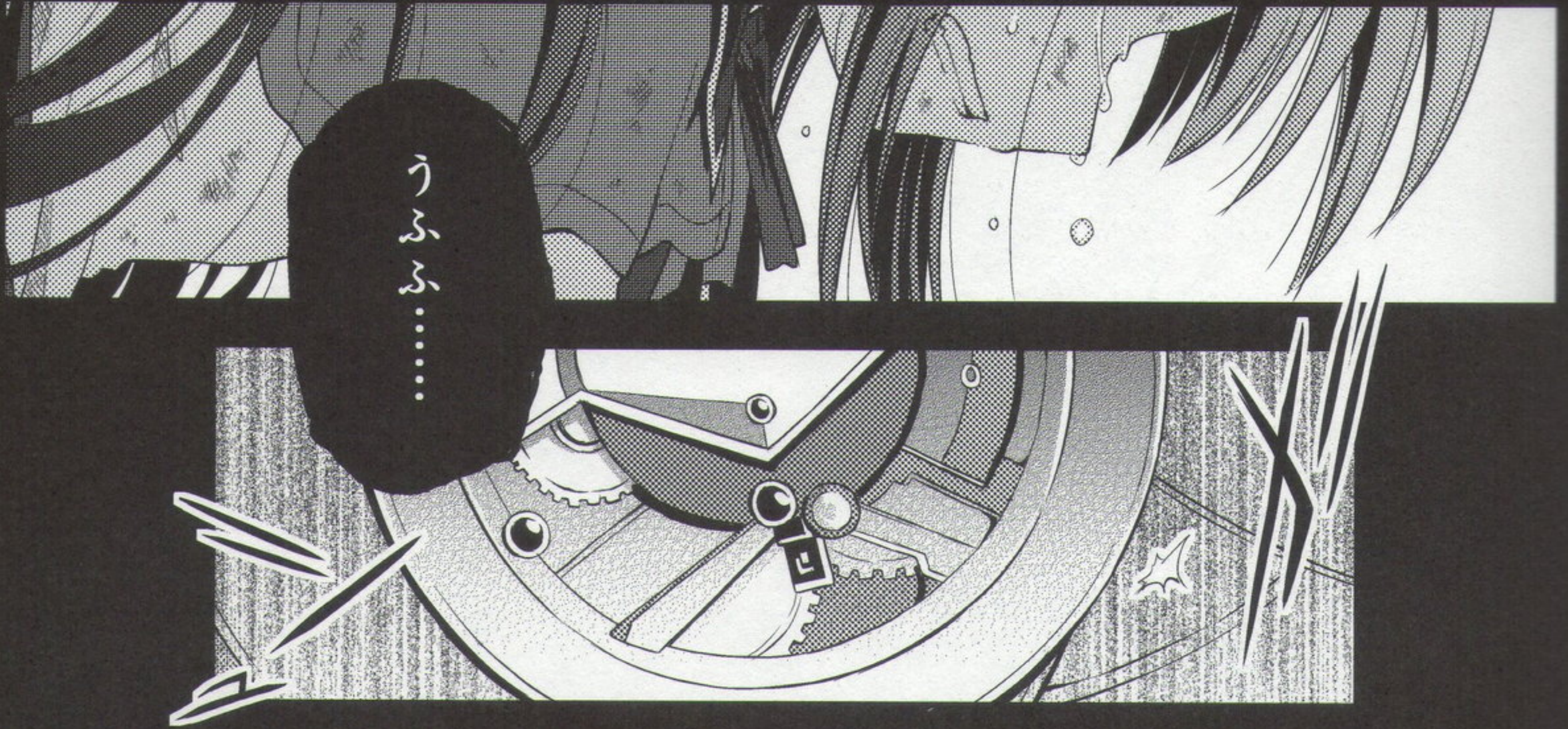
先輩も親友も  
その親友を救おうと  
した同志も全て  
死に絶えて

絶望と虚無感に  
満ちたこの世界に  
幸せを見つけてら  
れるくらい楽観して  
いるならね

おとといおいで  
なさい

暁美さん？



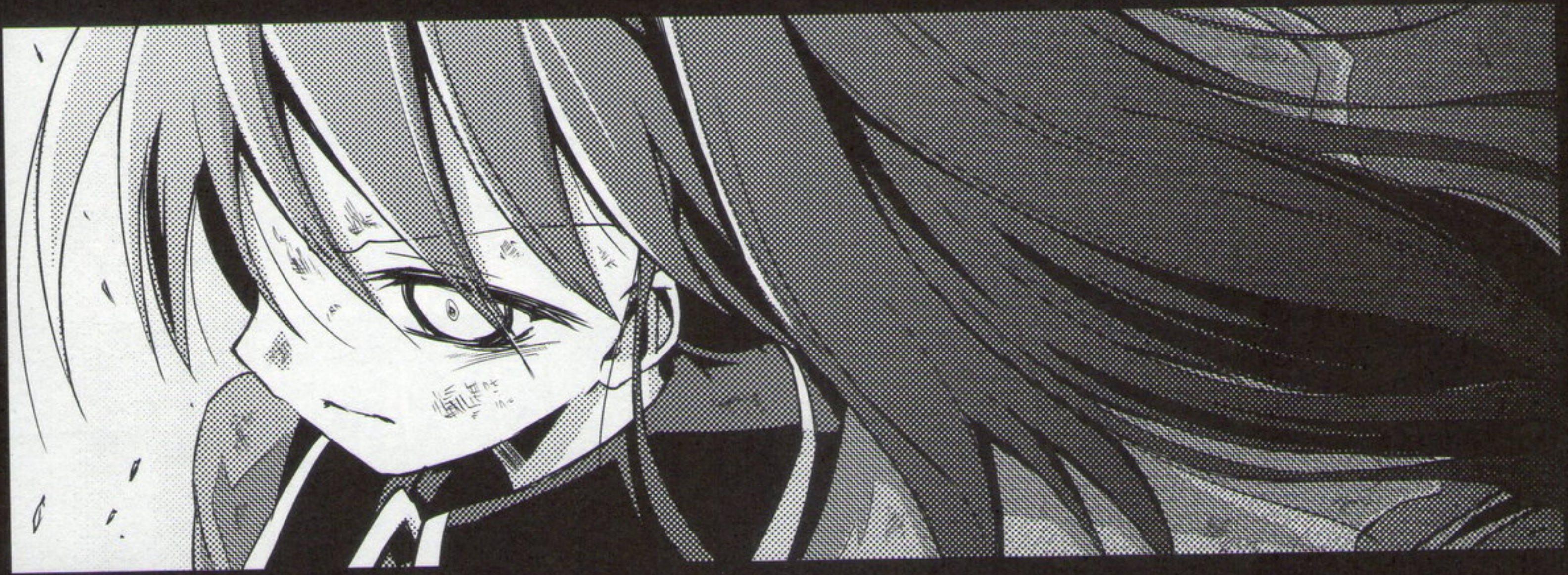


うふふ……

次の時間では

鹿目さんを  
運命から  
救えるといいわね





言われるまでも  
ないわ——

To Be Continued...







